

<マリ クリスティーヌ氏プロフィール>

異文化コミュニケーター、元国連ハビタット親善大使。

父親の仕事に伴い4歳まで日本で暮らし、その後ドイツ、アメリカ、イラン、タイ等諸外国で生活。単身帰国後、上智大学国際学部比較文化学科卒業。この頃スカウトがきっかけで芸能界へ。

94年東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。

生まれながらの環境から学んだ幅広い視点から国際会議・式典等の司会、講演活動など多方面にわたる活動をこなす。最近では乳がんの予防、早期発見のため、企業のCSRアドバイザーとしても活動している。



- 1996年 6月 AWC(アジアの女性と子どもネットワーク)代表
ボランティア活動などにも精力的に活動している
(URL <http://www.awcnetwork.org/>)
- 2000年 6月 国際連合人間居住計画(国連ハビタット)親善大使 に任命される。
United Nations Human Settlement Programme (UN-HABITAT)
(広報活動、居住問題の解決のための活動を続けている。)
(URL <http://www.habitat.or.jp/>)
- 2002年 3月 2005年日本国際博覧会 愛・地球博 広報プロデューサー 就任
- 2002年 4月 東京農業大学 客員教授／東京農業大学短期大学部 客員教授
- 2006年 4月 あいち海上の森^{かいしよ}名誉センター長 就任
- 2009年 4月 「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)支援実行委員会広報アドバイザー就任
- 2009年 11月 富山大学客員特別研究員就任
- 2010年 8月 シルク博物館名誉館長就任(<http://www.silkmuseum.or.jp/main/>)
- 2013年 12月 九州大学大学院工学府 客員教授(異文化交流学)
- 2015年 5月 東京オリンピック・パラリンピック競技大会「街づくり・持続可能性」専門委員
- 2015年 10月 東京オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレム委員会